障がいある人や、ひきこもり不登校の人たちとの明るい社会をつくるために

わんぱく学園ニュース

２０２３年　5月・6月号　　№２１７

季節は冬から春、そして初夏へと。

白い梅の花が香り、桃の淡い色が流れ桜が咲きみだれ今バラ科サクラ属と言うだけあり、桜に似た薄ピンクや緑白色の5弁の小花・・・そう・・すもも・プルーンの花が咲く頃 ＿＿＿＿＿。花言葉は「誠実な一生」「約束を守って～」とのこと。

プルーンの花　香り再び　海はるか

我が家のまわりは、数十年前家族と植えた花々。木々は枝ぶりもよくなり数メートルにも達し、明るくいろいろな色に染めています。

日本スモモのことを「すもも」、西洋スモモのことを「プルーン」と呼ぶようです。

この“すもも”“プルーン”の木々も今では5～6メートルとなり、五感を楽しませてくれます。　　～土江和世～

「斐伊川の夕日」

バス・ヴァルクス

12月に土江和世先生（ＮＰＯ法人サポートセンターどりーむ理事長）から3月のわんぱく学園ニュースの投稿を依頼された時、「しまった」と思いました。「テーマは？」と尋ねたら、「なんでもいいですよ」という返事。そしてトドメに「2000字ぐらいで大丈夫です。」

今年の4月で東京滞在18年、日本滞在22年（人生の半分！）の私ですが、作文は苦手です。

というのも、職場であるオランダ王国大使館ではオランダ語・英語・日本語が毎日均等に飛び交っていますが、文章になるとメールのやりとりの5％しか日本語を使いません。

さて、私の甚だしい勉強不足はさておいて、久々の作文の宿題を前に動揺しているのは、仕事柄慣れていないせいかもしれません。雇用歴16年の古株、大使館の現地採用の職員として外交官の仕事のアシストに専念してきました。大使のスピーチもよく依頼され難なく書いたりもしますが、大体TPOがはっきりしていてオランダ政府が海外に発信したいメッセージも決まっています。（スピーチの分量が足りない時には、4世紀に渡る日蘭交流の歴史からネタを仕込んだりしますが…）そんな中、わんぱく学園ニュースの読者向けに自分のメッセージを書いて欲しいと声をかけられ、オランダの広報政策の説明に逃げたくなるところですが、自分の話で頑張ってみます。

島根県とのご縁に話を移しましょう。2003年9月から一年間、当時の斐川役場がライデン大学の日本学科と連携しながら展開していた交流プログラム「ライデンハウス」の参加者として、斐伊川の堤防近くにある日本家屋に住んでいました。斐川・オランダという軸での交流プログラムでしたが、家は斐川町坂田だったので瑞穂大橋を渡れば平田の方が近く、平田の方と仲良くなり、たくさんの経験とご縁をいただきました。あっという間の一年でした。

私は2007年から大使館に勤めています。いつか平田の皆様に恩返しできたらと思っていました。2015年に土江先生のお陰で、ビッグハート出雲で行われた『チャレンジドアートエキスポインジャパン』にオランダのエーブルアートの団体が作品を出展する機会をいただきました。この時、オランダから創設者が来日し講演したことから、新たな交流が始まりました。※

さらに去年は平田国際交流センター、大橋昌典氏にお声がけいただき、平田高校の学生とオンラインでの交流を果たしました。こちらからはオランダの紹介をし、高校生たちからは小伊津地域の魅力学習のプレゼンをしてもらいました。

この企画の契機は奥出雲町の文化交流プロジェクトでした。奥出雲町とオランダは、かつて町内の寺にあった一対の仁王像を、2007年にオランダの国立美術館が購入したことを発端に、芸術などを通した交流を続けています。大橋氏はこのプロジェクトの発案者でオランダのアーティスト、イッケ・ファンローン氏と何度か会う機会があったようです。また、ちょうどこちらもファンローン氏の活動を大使館の助成金で支援していたことから、大橋氏から8年ぶりに連絡をいただきました。

2003年8月、斐川町滞在の終わりには、家の裏にあった土手を超えて斐伊川の沈水橋でボーっとすることも度々あり、橋を下校道に使う中学生に挨拶したり、卒業論文のことでもやもやしたりしていました。しかしこの橋から見た日の入り、そして1日の最後の日差しが斐伊川の水面にぶつかっては無数の光の破片に砕けて広がる光景は、今でも忘れられません。

あれから20年。細々ですが、オランダと平田のご縁は続いています。恩返しできているのでしょうか。斐伊川の光をまた目にする日までは都会の隅から、斐川・平田の皆様のご健勝とご活躍を祈っています。

【バス・ヴァルクス氏　プロフィール】

オランダ王国大使館　広報・政治・文化部

オランダ、ライデン大学日本語・日本の文化学科卒。在学中に留学と交流のために長崎・京都・島根に滞在。卒業後に2005年に国費留学生として東京へ渡る。2007年より大使館勤務。現在、主にヴィジュアル・アーツ、デザインや文化遺産の分野で日蘭の文化交流促進に努める。

※

第5回チャレンジドアートエキスポインジャパン2015

期日　2015年10月16日（金）～18日（日）　3日間実施

場所　ビッグハート出雲

〈主催〉

特定非営利活動法人サポートセンターどりーむ

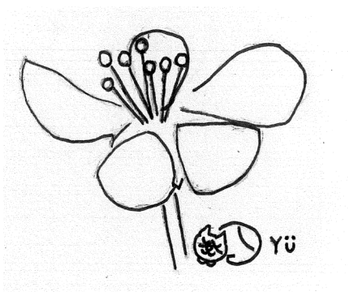
〈共催〉

オランダ王国大使館、島根県商工会議所連合会、

わんぱく大使館（当法人運営Ｂ型事業所）

世界各地から約500点の障がい者アートが届き、そのうちオランダからは、34点が出展。

又オランダ総領事ローデリック・ウォルス氏がご来場され、講師お二人、オランダ王国大使館バス・ヴァルクス氏もご来場された。



当法人アーティスト

Yü 作：プルーンの花

■　５月＆６月の「わんぱく学園」のメニュー

月　　日	内　　容
５月７日（日）	□　お休み
５月１４日（日）	□つつじの花を見に行こう　会費１００円 ～どんな花が咲いているのかな？　行先：斐川公園～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：角末美
５月２１日（日）	□花の植え替え　会費１００円 ～プランターの花を植え替えよう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：岩浅利正
５月２８日（日）	□♪お散歩しない♪　会費１００円 ～斐伊川土手をお散歩しよう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：土江和世・坂根玄明
６月４日（日）	□農業体験　会費１００円 ～農家さんと一緒に野菜を植えよう～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：土江和世・坂根玄明
６月１１日（日）	□あじさいの花を見に行こう！　会費１００円 ～何色のあじさいが咲いているかな？　行先：出雲大社～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：土江和彦
６月１８日（日）	□竹を使って工作　会費１００円 ～竹で世界に一つだけのマイカップを作ろう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：岩浅利正
６月２５日（日）	□まちをきれいに　会費１００円 ～みんなでゴミ拾いをしよう！～ 集合場所：アトリエ「おちらと」　担当：土江和世・坂根玄明

＊集合時間：9時50分　　集合場所：指定の場所へ来てくださいね。

※すべてコロナの拡大防止のために、中止、変更がありますから、１週間前に事務局まで確認してください。

問い合わせ＆発行元

〒691－0031　出雲市東福町156－1　ＮＰＯ法人サポートセンターどりーむ

ＴＥＬ＆ＦＡＸ：0853－62－4872　メール：sc-dream-kt@sky.plala.or.jp